



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

vol.34



愛鷹山より

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

1. 自然観察会
2. 富士山エコレンジャー
3. 富士山の世界文化遺産登録に向けて
4. 会員活動紹介

1 自然観察会

ふじさんネットワークでは、多くの皆さんに富士山の豊かな自然に触れ、親しんでいただくため、一昨年度から、ふじさんネットワークの会員が案内する自然観察会を実施しています。今年度も3コースの自然観察会を実施しましたので、その様子をご紹介します。

富士山自然休養林を巡る自然観察会

日時：平成22年9月26日(日)午前8時30分から午後4時まで

場所：御殿場口新五合目～幕岩～南山林道～水ヶ塚公園(裾野市) 参加者：36名

案内：富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

森林浴を楽しみながら、多種多様な落葉広葉樹林や野草などを観察しました。幕岩では、「幕岩溶岩流」と呼ばれる何枚もの溶岩が積み重なってできた溶岩の壁を観察しました。



樹木の解説をする関さん(写真右端)



人工林を観察する参加者



幕岩溶岩流の解説



鹿の骨を見ることができました。

柿田川の湧水を巡る自然観察会

日時：平成22年10月11日(月・祝)午前9時から正午まで

場所：清水町地域交流センター～柿田川～県企業局東部事務所柿田川支所 参加者：34名

案内：(財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

DVD「柿田川(人々が守りたいのちの水)」を鑑賞した後、柿田川に場所を移して、湧水の様子や、柿田川に生息する貴重な動植物を観察しました。

県企業局東部事務所柿田川支所管内にある取水施設「八幡取水場」では、柿田川の水を使用した水道事業について説明を受けました。



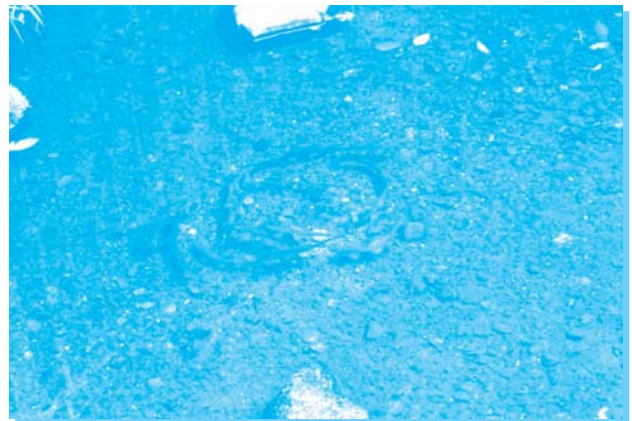
絶滅のおそれのある植物などについて
解説をする漆畑さん(写真中央)



実際に手に取って観察する参加者



柿田川の湧水を水源とした水道事業について
解説する堀井柿田川支所長(写真中央)



鮎の群れを見ることができました。

—お知らせ(富士山の日協賛事業)—

柿田川では、2月11日(金・祝)にも野鳥観察を中心とした自然観察会が行われます。
また、1月下旬には富士宮市内において、交流清掃事業を実施する予定です。
詳細については、ふじさんネットワーク事務局までお問い合わせください。

富士山ふれあいの森を巡る自然観察会

日時：平成22年11月3日(水・祝)午前10時から午後1時30分まで
場所：富士山ふれあいの森林(もり) (富士宮市栗倉) 参加者：20名
案内：富士自然観察の会

カエデを中心とした樹木の観察や、木の実や落ち葉などを観察しました。
また、標高1,100mにある噴火口跡の西臼塚も見学しました。



カエデの解説をする山田さん(写真右端)



熱心にメモを取る参加者



木の実を探す参加者



案内役の方から草笛の吹き方を
教えていただきました。

参加者の皆様からは、「大変よかった」という声が数多く寄せられました。
関係者の皆様には、3コースとも無事開催できたことを心よりお礼申し上げます。
ご協力ありがとうございました。

2 富士山エコレンジャー

(1) 富士山講座(富士山エコレンジャー講習会)開催中

平成22年度の講習会が10月から来年2月までの全7回の予定で始まりました。講座のみの受講者も含め約40名の方が参加しています。



登山実践の様子(須走口)
(講師：小山秀峰山岳会 岩田会長)



標本を参考に「富士山の動物」について学ぶ。
(講師：NPO法人自然史博物館ネットワーク三宅氏)



富士山の地形や地質、地下水などについて学ぶ。
(講師：土静岡大学名誉教授)

富士山講座の内容

○基礎講座

- ・自然関係(地形、植物、動物、気象等)
- ・自然環境(現状、負荷等)
- ・歴史関係(文化、芸術、登山信仰等)
- ・世界文化遺産(世界遺産の基礎)
- ・環境省施策、林野庁施策、静岡県施策
- ・活動基本(富士山憲章、活動方法)
- ・関連事項(富士山の砂防事業)

○実技講座

- ・登山実践(安全登山)
- ・危機管理(けが、病気、事故時の対応等)
- ・救命救急(応急処置、搬送法等)
- ・現地実践(動植物観察、対話法等)

23年度富士山エコレンジャーとしての活動を期待しています。

(2) 環境保全活動へ協力しました。

10月23日(土)に行われた富士山クリーンアップ登山大作戦Ⅱ(静岡県主催)と富士山環境保全ボランティア活動(株式会社伊藤園主催)で富士山エコレンジャー7名が案内役として活動しました。素晴らしい秋晴れの下、富士宮口五合目から宝永火口縁～樹林帯をトレッキングしながら富士山の自然環境や植生、環境にやさしいトイレ、登山マナーなどの解説を行った後、五合目・水ヶ塚の駐車場付近で環境保全活動としてごみ拾いを指導しました。

富士山クリーンアップ登山大作戦Ⅱ～歩いて 学んで 磨き上げ～

富士山のクリーンアップを目指すマナー啓発の一環として開催されたもので、母国での富士山情報の提供が期待される留学生の皆さんなど39名が参加しました。

案内役：石川明夫さん・佐藤清教さん・中島利男さん・萩野克己さん・平野博明さん



植生の解説をする富士山エコレンジャー



五合目駐車場付近でのごみ拾い

参加者からの声

自然解説を聞きながらの登山は貴重な機会です。非常に勉強になりました。

富士山環境保全ボランティア活動 (株式会社伊藤園主催)

お～いお茶環境キャンペーン「お茶で日本を美しく。」活動の一環として開催されたもので、(株)伊藤園の社員の皆さんと御家族、16名が参加しました。

案内役：大川康晴さん・勝亦富士雄さん



水ヶ塚駐車場付近でのごみ拾い



宝永火口の説明を聞く参加者

参加者からの声

ボランティア活動を通じて「富士山」に対する環境保全の大切さを肌で感じることができました。

富士山エコレンジャー活動に興味をお持ちになりましたら、遠慮なく、ふじさんネットワーク事務局までお問い合わせください。連絡、お待ちしております。

3 富士山の世界文化遺産登録に向けて

静岡県からのお知らせ

登録推薦書原案提出に向けて再スタート！！

平成19年1月に富士山が「世界遺産暫定リスト」に登録されてから、これまで静岡県では、山梨県や関係市町村と連携し、次のステップである登録推薦書原案の文化庁提出に向け、全力で取り組んでまいりました。しかし、構成資産である富士五湖を国の文化財に指定するために必要な同意取得の遅れ等の理由により、残念ながら今年7月末の国への提出を見送ることといたしました。

1 推薦書原案提出の先送りについて

静岡・山梨両県及び関係市町村は、登録推薦書原案を文化庁に提出するため、7月初旬に学術委員会を開催し、推薦書原案の内容について概ね了承を得ることができました。その後、7月末までに内容の一層の充実を図った上で、文化庁への提出を予定していました。

しかしながら、下記の理由により今年度の推薦書原案の提出が困難な状況となりました。

- ① 推薦書原案の提出に必要な構成資産の国文化財の指定について、富士五湖の指定に係る所有者などの同意取得作業が様々な要因で遅れたこと。
- ② 包括的保存管理計画の策定作業において、省庁間の最終的な合意に至らなかったことや、地元関係者からの理解を得る作業に時間を要していること。

そのため、7月28日に開催した「第8回富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議」において、推薦書原案の提出が1年先送りとなることが報告され、延伸について承認されました。

2 今後の取組について

今後、静岡・山梨両県及び関係市町村では、

- ① 構成資産の国文化財指定に向けての同意取得作業
- ② 包括的保存管理計画の策定
- ③ 推薦書原案の内容の充実

などの課題を速やかに解決し、引き続き、文化庁や学術委員、海外専門家などの助言を受けながら、富士山の確実な登録を目指して頑張っていきます。

来年7月に推薦書原案を提出できるよう、万全を期してまいりますので、今後とも御支援をいただきますよう、お願いいたします。



「第8回富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議」の様子

【登録に向けたスケジュール】

- 「富士山」が世界遺産暫定リストに登録
(平成19年1月)
- 推薦書原案を作成し、国へ提出
(平成23年7月)
- ↓
- 国からユネスコへ登録推薦書の提出
- ↓
- ユネスコ諮問機関(イコモス)による現地調査
- ↓
- 世界遺産委員会での審議
- ↓
- 世界遺産登録

4

会員活動紹介

NPO法人 日本トイレ研究所

住所 東京都港区虎ノ門1-11-7 第2文成ビル3F

TEL 03-3580-7487

http://www.toilet.or.jp/

私たち「NPO法人日本トイレ研究所」は、トイレの視点から、安全・安心な地域社会づくりと健全な地域環境づくりに貢献することを目的として活動しています。また、山岳地等における適切な自然環境の保全対策を実施する一環として、トイレからの環境対策を検討しています。

富士山に関しては、静岡県からの委託により、トイレの性能評価やし尿減溶化調査研究、整備調査などを行い、環境にやさしい富士山トイレの導入に向け協力してきました。現在は、富士宮市からの委託を受けて、登録後に世界文化遺産の構成資産となる「白糸の滝」などのトイレ整備構想づくりを進めています。富士宮市には富士山本体のほか、白糸の滝、富士山本宮浅間大社、人穴富士講遺跡、村山浅間神社、山宮浅間神社の6か所の構成資産があり、これらの文化財は登録後、来訪者の増加が予測されています。すでに文化遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」(和歌山県など)や「石見銀山遺跡」(島根県)では登録後に観光客が急増して、トイレの整備、維持管理が追いつかない状況になったといわれています。

私たちは、構成資産である文化財だけではなく、市内の観光地や一般公衆トイレも含めて文化遺産都市にふさわしい公衆トイレを整備するために、「富士宮市公衆トイレ整備構想」を策定しました。本構想では、『富士山トイレ文化都市・富士宮』を創造することを目標に、市内すべての公衆トイレで、＜4つのCと5つのE＞の実現を図ります。4つのCは、①Clean (清潔、清浄)、②Comfortable (快適)、③Culture (文化的)、④Collaborate(協働)、5つのEは、①Everytime(いつでも)、②Everywhere(どこでも)、③Everybody(だれにでも)、④Ecology(環境配慮)、⑤Emergency(緊急対応)をあらわしています。

その中でも、構成資産の公衆トイレを含めた観光地トイレの整備にあたっては、以下に掲げた環境、文化、UD(ユニバーサルデザイン)に重点を置くことにしています。

- (1) 河川や地下水など、水や水辺を守る
- (2) 文化財である建築物や森林など、景観に配慮する
- (3) 原則として、すべてのトイレにUDの導入を図る
- (4) 地元や市民の意見を取り入れた市民参加型の整備を図る



トイレの現況調査(人穴富士講遺跡)

このように私たちは、世界文化遺産にふさわしい環境や文化に配慮した都市づくりを志向し、観光客にとっての快適性や利便性を高め、市民にとっては暮らしやすい街となるお手伝いをしています。



2010年12月 vol.34

編集・発行/ふじさんネットワーク事務局

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡県葵区追手町9番6号 電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuji@pref.shizuoka.jp URL http://www.fujisan-net.gr.jp/

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土隆一
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 433団体・個人
(H22.11.30現在)